

## 会派名：公明党西尾市議団

### 事業実績（研修）報告

#### 1. 研修の概要

- (1) 目的 「外国人住民の定住・共生と不就学ゼロの推進」について
- (2) 日時 令和元年7月24日（水）10時～16時50分
- (3) 場所 東京都千代田区 日本教育会館7階会議室
- (4) 参加者 大塚久美子議員



(会場前)

#### 2. 研修内容と所感

・10：00～11：50

人口減少社会における自治体の移民/外国人施策  
国土舘大学文学部教育学科教授 鈴木江理子 氏

1. 移動局面における移民/外国人政策
2. 多文化化する日本
3. 居住局面における移民/外国人政策
4. 地域人口構造と移民/外国人
5. 自治体に求められること

・13：00～14：50

多文化共生のまちづくり～浜松市の経験から考える～  
(公財)浜松国際交流協会主幹 多文化共生コーディネーター 松岡 真理恵氏

1. 浜松市の30年の外国人受入れの経験からみる入管法の改正と総合的対応策  
～対等な市民としての受入れという前提は成り立つか～
2. 浜松市の取組み(浜松国際交流協会の取組みを中心に)  
～支援から多様性を生かす視点へ～
3. 重点個別事業の詳細  
～相談・若者エンパワメント・防災～実践研究14(2011年)他。

・15：00～16：50

外国籍児童生徒の不就学ゼロ対策と生活・学習支援の推進方策  
～「みんなかっ子」を具現するための取組みと現状～  
可児市教育委員会事務局学校教育課 指導主事 小川 隆行氏

1. 可児市における外国籍児童生徒教育に係るこれまでの歩み
2. 「みんなかっ子」の理念とその具現
3. 外国籍児童生徒教育に係る現状

#### 4. 個に寄り添う支援をめざした関係機関の連携

#### 5. 真の「共生」とは

### 所感

外国籍の子どもたちの現状を知り、母語と日本語の両方を習得しなければならないことや、日本人の差別意識を改善するためにまだまだ周知が必要なことなど、現場で子どもたちと向き合い子どもに携わる講師からの話は衝撃的であった。課題をクリアしていくためには、国の制度改革や、日本人の意識を変えることが急務であると考えている。自治体として、外国籍の子どもたちと積極的に関わる可児市の職員の方の話も素晴らしかった。西尾市としても、外国人が年々増え続ける現状にしっかりと市として対応していくべきであると考えている。やることと、やるべきことを精査し本市にも働きかけていきたいと考えているものである。



(講師)

### 収支報告

項目	支出金額	備考
研修費	44,970円	参加料 25,000円 旅費 19,970円
計	44,970円	